

【最終】E 19 中央自動車道 管内維持修繕業務転倒事故

【発生日時】 2025年08月01日(金) 11:00頃

【発生場所】 E19 中央自動車道 下り線 256.8kp 追越車線
【工事件名】 2025年度 中央自動車道 管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 追越車線規制において、ラバーコーンを設置後に作業員が荷台から降りる際に左足首を脱臼骨折したものの。

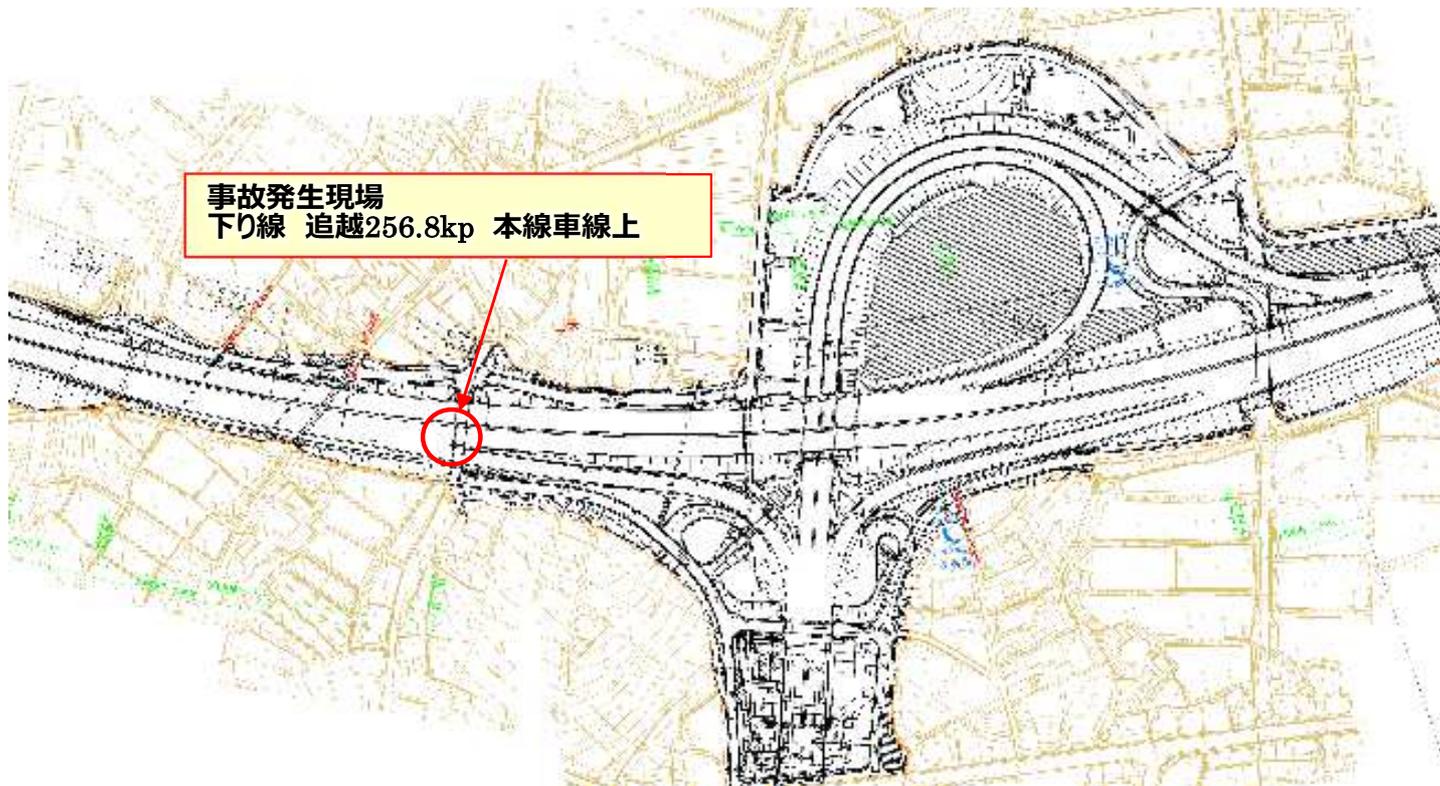
【被害状況】 交通監視員
左足首関節脱臼骨折(全治3ヵ月)
物的被害:なし

【時系列】 11:00 事故発生
11:00 現場から事業所担当課へ電話連絡
11:00 担当課長からHSC保全計画課へ電話連絡
11:00 所長からメンテ本社へ報告
11:20 整形外科受診(左足首骨折・脱臼)
11:30 病院へ緊急手術の為移動
12:00 病院到着
12:10 処置診察
診断結果:左足首関節脱臼骨折(全治3ヵ月)
※現在入院中で、脱臼の処置後手術(8/8)予定
14:20 が労働基準監督署に第一報報告済を確認
16:00 緊急安全大会を実施

【原因】 足元の確認不足で、地面からステップ最下段との高さを見誤った。
地面に着地するとき3点支持ができていなかった。
駆け足程度のスピードで降りた為、踏み間違えた勢いで足首を捻り体重が乗ってしまった。

【対策】 荷台から降車する際は、両足着地まで3点支持を継続しながら足元を確認して慎重に降りる。
引き続きステップによる安全な降車を指導・徹底する。
(足首関節脱臼骨折は、捻りや外部からの強い衝撃によって発生する。捻りや直接的に強い外力が加わらないよう慎重に行動を行う。)

位置図



事故状況(再現)

①落下防止ネットの荷締め不安・荷の積み直し



規制作業終了後離脱、少し走行したところで落下防止ネットの荷締め不安があったため、再度規制内に入し、積み直し作業を行った。ネットを外した際、荷台のコンテナの位置が気になり荷の積み直し、その後ネットを掛けるために荷台から降りる際に事故が発生。

事故状況(再現)

②降車時



荷台に昇降用のステップを設置し降車したが着地した際に左足首を捻った。
地面に着地するとき3点支持ができていなかった。
着地地点には障害物もなく物理的に捻る原因のものは何も無い状態だった。

③安全靴の状況



安全靴も最近買い替えたものでグリップ等に問題ない。